

Ubuntu 版 Hinemos インストール手順書

1 はじめに

本インストール手順書では、Ubuntu 版 Hinemos のインストール手順と設定方法について説明します。

基本的なインストール手順は Hinemos ver4.0 インストールマニュアル 第 1.2 版に沿っていますが、Ubuntu 版 Hinemos では一部異なる操作が必要となるため、本手順書で説明します。

2 動作環境

マネージャ動作 OS : Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit

エージェント動作 OS : Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit

3 マネージャ環境

Ubuntu 版マネージャを動作させる為には、以下のパッケージのインストールが必要となります。

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless
- unzip

一括制御を利用する為には、上記に加え以下のパッケージのインストールが必要です。

- expect
- krb5-clients

4 エージェント環境

Ubuntu 版エージェントを動作させる為には、以下のパッケージのインストールが必要となります。

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless
- unzip
- snmpd

5 Hinemos マネージャのサービス化

5.1 サービス起動スクリプト

以下のコマンドを実行し、サービス起動スクリプトを配置します。

```
# cd /opt/hinemos/sbin/service/  
# sudo cp -p hinemos_manager /etc/init.d/
```

5.2 自動起動の設定

OS 起動時に Hinemos マネージャを自動的に起動するように、以下のコマンドを使用し設定します。

```
#sudo update-rc.d hinemos_manager defaults
```

6 Hinemos エージェントのサービス化

6.1 サービス起動スクリプト

エージェントはインストール時にサービススクリプトが配置されます。

6.2 自動起動の設定

OS 起動時に Hinemos エージェントを自動的に起動するように、以下のコマンドを使用し設定します。

```
#sudo update-rc.d hinemos_agent defaults
```

7 補足

7.1 エージェント側 OS の snmpd 設定ファイルについて

Ubuntu 版 Hinemos の動作対象となる Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit に snmpd パッケージをインストールした場合、初期の設定として snmpd の設定ファイル「/etc/snmp/snmpd.conf」ではリモートアクセスを禁止する設定になっています。

• /etc/snmp/snmpd.conf

```
～省略～  
# Listen for connections from the local system only  
agentAddress udp:127.0.0.1:161 ★該当設定箇所  
～省略～
```

ご利用の環境のセキュリティポリシーに従い、前述の設定ファイルを適宜修正してご使用ください。

7.2 マネージャ側 OS の rsyslogd 設定ファイルについて

Ubuntu 版 Hinemos の動作対象となる Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit に rsyslogd パッケージをインストールした場合、初期の設定として rsyslogd の設定ファイル「/etc/rsyslog.conf」では実行ユーザを「syslog」に変更する設定になっています。syslog ユーザは特権ポート(TCP の 1023 番以下のポート)を bind する(指定のポートを使用してアプリケーションの待受けを行う)ことができないため、初期のままの設定では rsyslogd の標準使用ポートである 514 番ポートのうち TCP の 514 ポートを使用できません。

Ubuntu 版 Hinemos マネージャにインストールされる以下の設定ファイル(/etc/rsyslog_hinemos.conf)の設定を変更し、待受けポートを 1024 番以上に変更してご使用ください

•/etc/rsyslog_hinemos.conf

```
～省略～
$ModLoad imtcp.so
$InputTCPServerRun 514 ★該当設定箇所
$ActionQueueType LinkedList
～省略～
```

以上の変更を行った際は、エージェント側の以下の設定ファイル(/etc/rsyslog.conf)の設定も同じポート番号へと変更してください。

•/etc/rsyslog.conf

```
～省略～
# Hinemos Agent 4.0.2 (for syslog monitoring)
#
*.info;mail.none;authpriv.none;cron.none @@{マネージャ IP}:514 ★該当設定箇所
```

※マネージャ・エージェントともに設定変更後は rsyslog を再起動してください。

※どうしても TCP の 514 番ポートを使いたい場合

既存の環境に合わせるためなどの理由で TCP の 514 番ポートを使用する必要がある場合は以下の設定ファイル(/etc/rsyslog.conf)の実行ユーザの設定を、特権ポートを bind できるユーザ (root、adm 等) に変更してご使用ください。

•/etc/rsyslog.conf

```
～省略～
# Set the default permissions for all log files.
$PrivDropToUser syslog ★該当設定箇所
～省略～
```

実行ユーザを変更した場合、syslog ユーザで実行した場合には発生しないセキュリティ

リスクが発生します。上記の設定を変更される際には、ご利用の環境のセキュリティポリシーに従い、十分にご検討の上ご実施ください。